

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 181 2014.6.1 連絡先 402-1622 >

広島へ・・・「国民平和大行進」



5月24日晴天の下、和歌山 広島コース通し行進者の五十嵐茂臣さんを先頭に、平和行進が行われました。

平和のうたごえに始まり、集会では実行委員長のあいさつ、市長メッセージのあと、



参加各団体から活動報告があり、市民生協のみなさんはタペストリー広げ子どもたちもいっしょに発表しました。

参加者200人が、「戦争反対！9条守ろう！」「核はいらない！」「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ！」と声をそろえて訴えながら、市役所前から大新通り、ぶらくり丁を歩きました。沿道の人にも「こんにちは」と声かけ、一緒に歩きましょうとお誘いしました。

みち子のひとりごと 寺中美術館2

眠っているたくさんの「いのち」に合掌。



今も海の底に
さも感じました。
でなく人に対する優しさ、暖か
見ているうちに、哀しみだけ
を叫ぶ」（抜粋）とありました。
故郷を歩きたい。戦争殺人や
めて、平和な美しい人類の歡喜
風に見えました。

寺中美術館で見た絵の中で、一番印象に残っているのが「戦禍海底骸骨の悲話」（1986年）という作品です。
海の底に横たわる無数の骸骨の中で、2人（2体）が立ちあがり向かい合って握手をしているのです。思わず「何を話しているんだろう」と思いました。深い深い海の底で思いがけず出会った同郷の友人と、なつかしくふるさとを語りあい、いつか必ず帰ろうと誓い合っている、そんな風に見えました。

こんにちは加藤なおとです



日本の精神病院の入院患者は全国に32万人、内10年以上の入院は7万人にのぼる。退院して住む場所も支援もない事情から入院を強いられている。他の病では考えられない。政府は10年前、医療を改善し、地域の福祉計画を作ったが実現できなかつた。そして今、厚生労働省の作業部会で精神病棟を住居に転換して退院したことにさせる論が再度復活してきた。病

院経営にとつて入院患者は主な収入源とされ減らせれば経営が傾く。故に病院内に「退院」させてはどうかと。少なくとも10年前、こんなまやかしの退院論ではなく、地域での福祉基盤整備プランがあつたはずだ。「退院患者を病院内に押しとどめるような環境づくりは障害者の自立と社会参加を保障する障害者の権利条約の理念を損ねることになる。地域から切り離す行為に変わりはない」（東京新聞社説）人権を軽んじて病院経営を優先させる国策をいつまで続けるのか。

映画 「ひまわり」

～ 沖縄は忘れない

あの日の空を～

1959年6月30日、突然、米軍のジェット戦闘機が墜落、炎上しながら宮森小学校へ激突し、学童11名、近隣住民6名の尊い命が奪われ重軽傷者210名という大惨事になりました。さらに2004年8月13日、米軍大型輸送ヘリが沖縄国際大学に墜落、幸い民間人に負傷者はありませんでしたが、これもあわや大事故となるところでした。

実際に起きたこの二つの米軍機墜落事件をモチーフに、オスプレイ配備に揺れる今の沖縄・日本に平和とは何かを問いかけるこの映画は、映画「ひまわり」製作委員会によって2012年完成後、日本の各地で上映されています。和歌山市でも上映しようと、実行委員会が立ちあがりました。ぜひご覧いただきたいと思います。

6月29日(日)2回上映

10:30～ 13:30～

あいあいセンター

前売り券1000円(当日1500円)の予定です。チケットご希望の方は松坂まで(090-1702-7310)。

山下よしき書記局長来たる

6月7日(土) 14:00～

新しくなった農協会館

JR和歌山駅西口

共産党を語るつどいにぜひお越しください



こんにちは松坂みち子です No.181